

LB 会報



2008年6月 No.3

有限責任中間法人東大LB会機関紙

編集責任者 事務局長 樋口周嘉

総務 手島直幸、吉澤伸明、尾崎哲男

〒113-8654 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学運動会ア式蹴球部内

● 東大ア式蹴球部創部 90 周年記念事業	1 ページ
● 五月祭公開パネル討論	3 ページ
● 東京大学サッカー史編集の状況	3 ページ
● 東京大学サッカー史協賛のお願い	4 ページ
● 定時社員総会報告	5 ページ
● ア式蹴球部の状況	7 ページ
● LB 会年代別チームの戦績	7 ページ
● LB 会会費について	8 ページ
● 平成 19 年度会費納入者リスト	10 ページ
● LB 会役員及び代議員	12 ページ
● 創立 90 周年記念講演 講演者プロフィール	12 ページ

東大ア式蹴球部創部 90 周年記念事業

平成 20 年 6 月 1 日

東大LB会 理事長 浅見 俊雄

拝啓 初夏の候 本会会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて 東大ア式蹴球部創部時期の根拠は、1918年(大正7年)関東大会招待試合に「帝大蹴球団」出場の記録があることによります。

これを受けて、90周年に当たる 本 2008 年に記念事業を企画しました。

記念事業の大きな柱は、「東京大学サッカー史」の刊行です。LB 会では、OB 各位に LB 会代議員を通じて記事・記録の提供お願いなど、編集委員による編集プロジェクトを進めており、本年 12 月には刊行の予定です。

LB 会は、貴重な 90 周年を OB 各位、現役選手諸君、関係者が一緒にお祝いし、更にこれからの発展を期すための記念事業を考えて参りましたが、以下の企画を纏めました。

LB 会員の皆様には、年会費に加えてご負担をお願いすることになり恐縮ではありますが、これらの計画にご理解を頂き、絶大なご支援・ご協力を賜りますよう よろしくお願い申し上げます。

敬具

東大ア式蹴球部 90周年記念事業の内容

1. 記念ポロシャツの販売

(A型、B型)×(サイズL、M)の4種類 @4,000円



色 : 白
サイズ : L、M の2種類
首周り 身幅
M 40cm 51cm
L 42cm 54cm

日本製(WEATHERCOCK)
綿60% ポリエステル40%

A型(エンブレム付:現役と同一)

B型(ロゴ刺繍:色グレー)



THE UNIVERSITY OF TOKYO

FOOTBALL CLUB SINCE 1918

2. 記念試合:11月15日ホームカミングデー(御殿下グラウンドにて)

AM : 少年サッカースクール、11:45~12:45 : LB60・70 vs. 早慶(予定)、13:00~ : LB 紅白戦

3. 公開パネル討論「大学サッカーの未来を考える!」:5月24日10:00~ 五月祭で開催済み

4. 記念誌「東京大学サッカー史」の頒布

5. 「東大ア式蹴球部 創立90周年記念講演・パーティー」の開催 : 12月19日(金)、学生会館本館

【講演1】 17:15~18:00 「東大サッカー90年の歴史」 牛木素吉郎(スポーツジャーナリスト:P.12参照)

【パーティー】 18:30~20:30 (【講演1】は会議室にて、【講演2】はパーティー会場にて行います。)

【講演2】 19:00~19:45 「超一流外資系金融マンからJを目指すサッカークラブの起業へ!」

木村正明(アジアノ岡山スポーツクラブ代表取締役:P.12参照)

会員への協力依頼 : 各行事への積極参加をお願いします。同封の「払込取扱票」を利用して

7月末までに記念誌と記念ポロシャツの**予約と代金の払込**をお願いします。

記念誌は2セット以上及び**記念ポロシャツは2着以上**の購入をお願いします。

記念誌 1セット5,000円:本誌4,000円+エッセイ集1,000円、**2セット推奨10,000円**

出身校への寄付などお考え下さい。パーティーで配布またはその後の宅送。

記念ポロシャツ (A型、B型)×(サイズL、M)各4,000円、「**2着で1セット**」推奨**8,000円**

A型:現役と同じエンブレム付き、B型:刺繍ロゴ付き(ご家族用にも)

パーティーで配布またはその後の宅送(なお、京大戦でも手渡し予定)。

記念パーティー 後日、詳細案内・出欠照会の予定 **今回は現時点での出欠予定を伺います。**

以上

問合せ先 : 理事 小川恭二(S43卒) 090-5993-6022 suraimi@green.ocn.ne.jp

五月祭公開パネル討論

90周年記念事業の一環として、5月24日(土)東京大学本郷キャンパス 法文2号館1大教室にて、東大ア式蹴球部主催、東大LB会協力で、150名ほどの聴衆を集めて行われました。「大学サッカーの未来を考える！」をテーマに熱のこもった議論が交わされました。討論会の詳細はLB会ホームページを参照ください。

パネリスト：望月進司(東大法学部3年生、ア式蹴球部部員、米国Arcadia高校卒業)
加納樹里(中央大学教授、ケルン・スポーツ大学に2年間留学)
瀧井敏郎(東京学芸大学教授、サッカー一部部長)
浅見俊雄(有限責任中間法人東大LB会理事長、東大名誉教授)＝司会＝

東京大学サッカー史編集の状況

年代誌

昭和30年度(昭和31年卒編集)から平成20年度(現役4年編集予定)までの54年度のうち30年度分(56%)の記録・記事を寄稿頂きました。東大サッカー史を穴あきの形にしないために、すべての年度からの寄稿をお願いします。特に昭和60年度以降の若い世代からの寄稿が遅れています。代議員の方を中心によろしくお願いします。

大正7年草創期から昭和20年までは編集委員(牛木、浅見、安達、五十嵐)が手分けして、関係新聞記事、雑誌記事、写真などを収集して、執筆しております。

ご高齢のOB方に本郷山上会館にお集まり頂き、「戦前戦後の東大サッカーを語る会」及び「昭和28年全国大学選手権優勝を語る会」を開催して、昭和20年代の歴史をまとめております。

個人エッセイ

渡辺隆二(昭和18年卒)「私のサッカー人生(豚皮のシューズ)」をはじめ、LB会員から54編、現役学生諸君から59編の原稿を頂きました。年代別には年代誌同様若い世代の寄稿が少なく寂しい感じです。監督・部長経験者にも寄稿をお願いしたところ、4名の方から頂きました。

<以上、締め切りを7月末まで延ばしております。まだ間に合います、90年史に参加してください。>

寄稿の宛先

電子ファイル原稿は東大サッカー史編集委員会、rekishi@lbsoccer.org宛て送ってください。

外部依頼原稿

京大OB、北大OB、日本サッカー協会顧問、ダックス、サポーターなどから90周年を祝い東大との交流の歴史をつづった原稿を頂いております。

「東大サッカーの生んだ英傑」「東大サッカーの歩み」原稿

新田純興、野津謙、竹腰重丸はじめ大先輩の関係資料を収集し、編集委員が手分けして執筆、編集中です。須賀敏孝、岡野俊一郎両先輩のインタビューを行い記事に編集中です。

【極東大会】、【関東大学リーグ6連覇】、【ベルリンオリンピックと東大サッカー】などのトピックについて関係資料、写真の収集、執筆作業中です。パンフレット、写真や手書き原稿などについては編集委員会でスキャナーを備えて資料整理を進めています。

なお、上記五月祭公開パネル討論の討議内容要約も東大サッカー史の記事にする予定です。

編集作業への協力をお願い

神田の学士会館地下「東大連絡事務所」で定期的な会合をしています。参加して頂き編集にご協力願えればと思っております。会議室の予約状況は、東大サッカー史研究会のスケジュールサイト <http://light.blue.coocan.jp/TSHSG/tshsgsche.cgi> をご覧下さい。

(2008年6月10日文責:手島直幸 S47卒)

「東京大学サッカー史」協賛のお願い

拝啓

関東地方の梅雨も本格的になり、雨の日が多くなりました。東京大学ア式蹴球部 OB の各位にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

東大 LB 会では、創部90周年記念事業の一つとして「東京大学サッカー史」を編集・出版すべく鋭意作業を続けておりますが、企業、団体、個人等から協賛を頂き、編集・出版経費の一部に充当することを予定しております。

創部90周年に当たり、LB 会員各位には既にご協力・ご支援をお願いしておりますので、真に恐縮ではありますが、下記出版計画及び協賛要領をご一読の上、協賛(広告或いは寄付)をご検討賜りたくお願い申し上げます。各位のご関係の法人、団体等にもお話し頂ければ幸甚でございます。協賛頂ける場合は、同封申込書にご記入の上、ファックスをお願いいたします。

敬具

記

1. 出版計画

- ・ 出版部数: 1000部
- ・ 発行予定: 2008年12月
- ・ 内容:
 - ① 日本と東大のサッカー
 - ② 日本のサッカーを作った大先輩(評伝)
 - ③ 東京大学ア式蹴球部の歩み
 - ④ 年代誌「時代の証言」
 - ⑤ 付属資料: 卒業生名簿、年表 など
- ・ 体裁: B5 版ハードカバー、グラビア写真12ページ、本文横組み、約320ページ

2. 協賛(広告、寄付)要領

- (1) 広告: 1件 5万円、
B5 版半ページ(白黒)広告掲載。図案(或いは版下)をご提供頂きます。
- (2) 寄付: 1口 2万円、企業・団体名、ご芳名をリストに掲載
- (3) 協賛金払込: 本年9月末
- (4) 広告・寄付共「東京大学サッカー史」1冊贈呈

3. お申込み・ご照会 : 編集委員 武田勝年(S41年卒)

〒251-0871 神奈川県藤沢市善行 2-16-3

電話 & FAX: 0466-80-1410

メール: takeda4395@yahoo.co.jp

定時社員総会報告

◆ 定時社員総会

2008年3月15日日本郷の山上会館において定時社員総会を開催し、2007年度の事業・決算報告及び2008年度の事業・予算計画の審議を行いました。また、2006年1月の法人設立時に就任された代議員の方々が2年の任期を迎えられたので、代議員の選任を行いました。

議事内容の全てを記すことは紙幅の都合上叶いませんので、以下に主要事項を記します。

なお、総会の議事録及び配付資料は役員・代議員全員へ電子データでお渡ししてあります。

◆ 2007年度事業報告

新たな活動として、創部90周年を記念して「東大サッカー史」の編集を始めました。事業の内容については前述していますので省略しますが、この事業に対しては昭和6年ご卒業の篠島秀雄先輩の未亡人春枝様から200万円のご寄付を戴いております(LB会報2号で既報)。

LB会としての情報発信の手段に関し、以下の見直しを行いました。①LBニュースを廃止し「LB会報」を新たに発行、②LB会のホームページをリニューアルし新しいドメインwww.lbsoccer.orgを取得、③LB会のメルマガを発行(現役のメルマガ送付先リストを利用)。

年代別チームの活動としては、若手LBのチームである「チームDiego」が東京都社会人リーグの2部で優勝し、1部への昇格を果たしました。また、シニアのチーム「LB50」、「LB60」はユニフォームを新調し、各地の大会及び親善試合を数多くこなしています。

◆ 2007年度決算報告

次ページに2007年度会計収支決算書を示します。会費収入は「会費増額キャンペーン」の成果と言えそうですが、前年度より約100万円増えて386万円となりましたが、予算策定時の想定額を34万円ほど下回っています。

それにも拘わらず、全体として、単年度で7万6千円ほどの黒字決算となっていますが、これにはサッカー教室の収支差額30万円(会員増による)とLB50・LB60の試合の参加者からの寄付金42万円(1人1回1,000円の集積)が寄与しています。

◆ 2008年度事業計画

特記すべき事業は、既にこの会報の初めの方に詳しく記しましたが、創部90周年を記念した「東大サッカー史」の編集の継続と出版、並びにそれを含む「90周年記念事業」の実施です。

その他、新たな事項としては、現役の公式戦用のユニフォーム一式(H&A用各50着)の新調をLB会の負担で行うこととしました。公式戦のユニフォームは5、6年毎にその時の現役部員が負担をして新調することとなっていました。これを5年に1回LB会の負担で行うという考え方に改めたものです。本来はこのための積立を行って必要な年度に支出する形であるべきですが、今年度は逆に最初に支出し5年間でそれを回収するとの考え方に立っています。

◆ 2008年度予算計画

会費収入を対前年度微増の399万円と見込み、支出に関してはユニフォームの調達費を100万円とする以外は前年度並みとなっています。このユニフォーム代金を前述しました様に先出しを行う形とする関係で、単年度で約52万円の赤字見込みとなっています。

「東大サッカー史」の編集・出版に関しては532万円の収支見合いの予算計画としており、収入は上記のご寄付の他は、頒布収入290万円、広告収入40万円を見込んでいます。

◆ 代議員の選任

昨年の総会で選任された3人を除いて残りの代議員44人が選任されました。新任は8人であとは再任です。全役員と代議員の氏名を本会報の最終ページに掲載します。

2007年度 会計収支決算書

2007年1月1日から2007年12月31日まで

有限責任中間法人東大LB会

(単位:円)

科 目	決 算	摘 要	金 額
I 収入の部			
1 会費・入金収入		① 3人 @3,000*3	9,000
入金収入	① 9,000	② 口座振替 176人	2,182,000
会費収入	② 3,857,000	みずほ 25人	326,000
	3,866,000	三菱東京UFJ 52人	661,000
2 事業収入		郵便振替 55人	688,000
サッカー教室委員会	③ 1,066,776	合計 308人	3,857,000
総務チーム	④ 518,000	③ 少年サッカー教室会費・合宿収入他	1,066,776
	1,584,776	④ 京大戦・納会他参加費収入	518,000
3 寄付金収入			
会員からの寄付	⑤ 427,500	⑤ LB会サッカーの集い@1,000+対戦チーム	427,500
	427,500		
4 その他収入			
利息収入	⑥ 10,641	⑥ 預金利息	
	10,641		
当期収入合計	5,888,917	⑦ コーチ 209,000*12	2,508,000
収 入 合 計	5,888,917	トレーナー 83,330*12	999,960
II 支出の部		コーチ交通費	25,700
1 事業費		製氷機・ビデオカメラ	498,036
(1)ア式蹴球部支援委員会	⑦ 4,040,696	コーチ他保険料	9,000
(2)年代別チーム運営委員会	0		4,040,696
(3)サッカー教室委員会	⑧ 737,822	⑧ 少年サッカー教室コーチ謝礼・合宿費他	
(4)歴史編纂委員会	0		
(5)総務チーム	⑨ 454,896	⑨ 京大戦レセプション・納会費用	
(6)LBニュース・LB会報	⑩ 254,730	⑩ LBニュース1回、LB会報2回発行	
	5,488,144		
2 管理費			
通信運搬費	⑪ 50,403	⑪ 歴史関係依頼文書発送費 45,403他	
租税公課	⑫ 81,975	⑫ 均等割り 70,000他	
慶弔費	⑬ 47,250	⑬ 供花3人分 15,750*3	
会議費	⑭ 50,824	⑭ 会議室使用料・資料コピー代	
支払手数料	⑮ 54,778	⑮ 口座振替手数料 41,758、振込手数料	
雑支出	⑯ 39,650	⑯ HPサーバー35,700他	
	324,880		
当期支出合計	5,813,024		
当期収支差額	75,893		
前期繰越収支差額	△ 645,035		
次期繰越収支差額	△ 569,142		

当期収支差額は7万円強のプラスの決算となった。

サッカー教室の収支+30万円(会員増による)及びLBサッカーの集いよりの寄付金42万円が寄与している。

一方収入の基本となる会費収入は予算を34万ほど下回り、今後の会費納入率UPのための努力が更に必要。

ア式蹴球部の状況

◆ 新1年生入部歓迎式

5月7日 18:30-20:30、ア式蹴球部部室において、新入部員の歓迎式を行い、LB会から浅見理事長、西野副理事長、樋口理事・事務局長、藪内理事・監督、手島理事・総務担当が出席し、会の概要と東大サッカーの歴史の話をし、新入部員からはそれぞれの抱負が述べられました。

今年は新入生勧誘活動を積極的に行い、昨年よりは多くの新入部員を迎えることができましたが、GKの獲得を逃す等の残念な面もありました。

今年の入部者は以下の選手12名と女子マネージャ3名です。

道喜開視(理I、江戸川学園取手)、加賀田俊将(文I、暁星)、三浦良介(文I、栄光)、鈴木康平(文I、八千代)、久保雅史(文II、麻布)、蒔田祐貴(文II、開成)、松本一起(文II、海城)、森元規裕(文III、海城)、宮川啓輝(理I、麻布)、太田圭亮(理I、麻布)、尾崎洋輔(理I、伊勢)、野中尚輝(理I、葦崎)、市来麻友子(文III、学芸大付)、溝端一美(白百合女子大、湘南白百合)、石川蘭(白百合女子大、聖ドミニコ)

◆ 春の戦績

① 総理大臣杯兼春季トーナメント (Aチーム)

第2回戦 4月6日 国際基督教大 ○ 8-0

第3回戦 4月13日 成蹊大 × 0-1

② 国公立大会 (Bチーム)

第1回戦 4月19日 東京海洋大海洋工学部 × 1-1(PK3-5)

③ 春季東都1部・2部対抗戦 (Aチーム) : 5チームでのリーグ戦

第1戦 5月4日 山梨大(東都2部) ○ 4-1

第2戦 5月18日 日大文理(東都2部) ○ 2-1

第3戦 5月25日 帝京大(東都1部) × 2-6

第4戦 6月1日 立教大(東都1部) × 1-2 予選敗退

◆ 京大戦は8月3日(日)京都大学農学部グラウンドにおいて行われます。

LB会年代別チームの戦績

チーム Diego

若手LBのチームである“チーム Diego”は今年、東京都社会人サッカーリーグの1部に昇格し、活躍が期待されているところですが、6月15日までの戦績は1勝6敗2引き分けと残念な結果となっています。比較的下位との対戦を残している残り4試合での巻き返しに期待しましょう。

LB50・LB60の試合の実績・予定 (公式の大会参加の記録のみ)

① 東京都シニア(O-60)サッカー大会 (LB60) … 参加16チーム

4月14日 予選リーグ

0-1 墨東クラブ、0-0 多摩中ロイヤルス、1-1 杉並リベルタ 2分け1敗で予選リーグ3位

5月25日 順位決定戦 予選4ブロックの3位同士での9位~12位決定戦

0-0(PK勝ち)八王子GOルドマン、1-0 慶応OB 2連勝し9位を確保

② 古河市マスターズサッカー大会 (LB50) … “エンジョイ50雀”部門で3試合 1勝2分け

5月24日 2-0 LAZOS 古河FC

5月25日 0-0 柏キングス SC50雀、1-1 dfb ホロンス

③ (予定) 9月27日・28日:LB60 スーパーエイジサッカー in 刈谷、11月8日:LB50 藤枝遠征

LB 会費について

◆ **平成 19 年度の会費納入実績**

平成 19 年度の会費につきましては、後掲の「平成 19 年度会費納入者(H19 年 4 月～H20 年 3 月納入分)」の通り、295 名の会員から 3,720 千円を納入頂きました。平成 18 年度から 25 名、450 千円の増加となっております。納入頂いた会員の皆様に感謝いたします。

昨年 5 月の会報で“口数増加”“口座振替利用の拡大”“名誉会員の方の会費納入”の 3 点をお願いしました。その結果平成 19 年度は 5 口(15 千円)以上の納入者 73 名、口座振替利用者 176 名(27 名増)、名誉会員(70 歳以上の会員)の納入者 42 名となっています。御協力頂きました方に、改めて御礼を申し上げます。

(注1) LB 会では会費の領収書は発行しておりません。後掲の表にお名前と金額があることを領収の証とお考えください。(公式には、原則として金融機関経由で納入して頂いておりますので、金融機関の記録を会費納入の証として頂くという考え方をしております。)

(注2) LB 会の決算上の処理は平成 19 年 1 月～12 月の納入分を平成 19 年度の会費収入としていますが、会費納入実績管理上は平成 19 年 4 月～平成 20 年 3 月納入分を平成 19 年度会費として扱わせて頂いております。

◆ **平成 20 年度の会費に関するお願い**

LB 会としては、法人化後 3 年を迎えておりますが、現役への十分な支援とその他の LB 会の活動の実施を考えた時、財政基盤は未だ脆弱なものと言わざるを得ません。

そこで、改めまして、これまで会費をお納め頂いてない方或いは会費の納入が途絶えてしまっている方に会費の納入をお願いします。

更に、昨年来の、“口数増加”“口座振替利用の拡大”“名誉会員の方の会費納入”のお願いを継続させて頂きますので、ご協力をお願いします。

◆ **会費の金額**

会費の金額は、1 口 3 千円を 4 口以上でお願いします。なお、大学院等に在学中の会員は 1 口以上で結構です(就職された時点で口数の増加をお願いします)。

また、後述しますが、名誉会員の方の場合は金額は「任意」ということにさせて頂いております。

◆ **会費納入の手続き(1) 既に口座振替をご利用の方**

既に会費の納入に口座振替をご利用頂いている方につきましては、9 月末頃に振替(引き落とし)の手続きを行う予定です。

口数を増減される場合には、同封の「振替金額指示書」を下記の担当まで FAX もしくは郵送してください。メールでもお名前と金額を明示頂ければ、受け付けます。なお、7 月末までに「振替金額指示書」のご送付またはメールがない場合には、昨年と同額を引き落とさせて頂きます。

また、振替対象口座を変更される場合は、下記の担当者まで、FAX、メール、電話でご連絡頂ければ改めてご提出頂く「預金口座振替依頼書」と「振替金額指示書」をお送りします。

◆ **会費納入の手続き(2) 口座振替依頼手続き未済の方で昨年度の会費納入済みの方**

口座振替手続き未済の方で昨年度の会費を銀行または郵便局から振り込み或いは払い込みして下さった方には「預金口座振替依頼書」を同封しておりますので、是非とも今年度から口座振替のご利用をお願いします。「振替金額指示書」と共に 7 月末までに下記の担当まで郵送をお願いします(恐縮ですが郵送料をご負担ください)。(口座振替に関しましては、後掲の説明をご覧ください。)

口座振替への変更をお望みでない場合には、引き続き下記の銀行の振込先口座へ振り込みをして頂くか、同封の「払込取扱票」(90周年記念事業と兼用)を使用し、郵便局から払い込みをお願いします。なお、会費の納入は1年中受け付けておりますが、今回は一応の区切りとして7月末までをお願いします。

【振込先口座】 口座名義人はいずれも“有限責任中間法人東大LB会”

① みずほ銀行日本橋支店(038)(普通預金)番号:2213920

② 三菱東京UFJ銀行日本橋支店(020)(普通預金)番号:5125311

◆ **会費納入の手続き(3) 昨年度の会費をお納め頂いてない方**

昨年度の会費未納の方には、改めて本年こそ、次の何れかの方法での会費の納入をお願いします。なお、会費の納入は1年中受け付けておりますが、今回は一応の区切りとして7月末までをお願いします。

(1) 今後の会費納入の便のために「口座振替依頼」の手続きをして頂く。

「口座振替依頼書」等の必要書類をお送りしますので、下記の担当者まで、FAX、メール、電話でご連絡ください。(口座振替に関しましては、次項の説明をご覧ください。)

(2) 上記の「みずほ銀行」または「三菱東京UFJ銀行」の口座へお振り込み頂く。

(3) 同封の「払込取扱票」(90周年記念事業と兼用)を使用し、郵便局から払い込み頂く。

◆ **口座振替について**

口座振替による会費の徴収は、三菱UFJファクター(株)(以下MUF)の「代金回収サービス」を利用しています。毎年1回LB会からの指示に従ってMUFは会費の振替を会員個人の金融機関に対して請求し、集まった会費を一括してLB会の口座に振り込むというサービスです。

これを利用するには会員個人が自分の利用している金融機関に、MUFから請求があったら支払をしてくれと事前に届けておく必要があります、その届けを行う書類が「口座振替依頼書」です。これをLB会で会員番号の記入等の処理をした後、MUF経由で皆様の金融機関へ送ることとしています。

これを利用すると会員の皆様は、会費の納入を毎年忘れずに、手数料無しで行うことができます。毎年の振替は都度LB会からのMUFへの指示に基づいて行われ、LB会では指示を出す前に会員各位に金額の確認を行いますので、その時点での金額変更も可能です。

◆ **名誉会員の方への会費納入のお願い**

LB会では70歳以上の方を全員“名誉会員”とさせて頂いております。今年度の名誉会員は、昭和36年以前ご卒業の方となります。(事務簡素化のため、卒業年次で区切らせて頂きます。)

名誉会員各位には、会費納入義務は負って頂かない事しておりますが、現役への支援を続けようとお考えの方に「任意」の額を会費としてお納めいただく事をお願いしております。

今年度も、口座振替依頼手続き済みの方はそのまま継続を、その他の方は、銀行・郵便局を利用してのお振り込み・お払い込みを宜しく申し上げます。新たに、口座振替依頼手続きを行って頂くことも可能です。下記担当者まで必要書類の送付をご要求ください。

◆ **【会費担当者】** ご不明な点ありましたら、何なりと御照会下さい。

吉澤 伸明 (S50年卒)

携帯: 090-7395-9559

メール: aya8423@opal.dti.ne.jp

自宅: 〒233-0007 横浜市港南区大久保1-13-14

TEL&FAX: 045-842-4173

尾崎 哲男 (S50年卒)

携帯: 080-5020-8062

メール: tikazo@jcom.home.ne.jp

自宅: 〒187-0004 小平市天神町1-359-3

TEL&FAX: 042-332-2275

平成19年度会費納入者(H19年4月～H20年3月納入分) (注)金額欄の左は平成18年度会費納入額

卒業年	氏名	金額 (千円)	種別	卒業年	氏名	金額 (千円)	種別	卒業年	氏名	金額 (千円)	種別
S14	田村三郎	12→12	○	S40	深澤重幸	12→12	郵	S47	大日向明	12→12	○
S18	渡辺隆二	15	郵	S40	石田金次郎	12→15	○	S47	金武貢	12→24	○
S19	須賀敏孝	30→30	○	S40	石光豊	12→12	○	S47	手島直幸	12→15	○
S22	三井忠夫	15	郵	S40	太田直幹	12→12	○	S47	戸井正明	12→24	三
S22	長島喬	12	郵	S40	加藤義章	12→12	み	S47	宮路康利	12→18	○
S23	高崎達也	12	郵	S40	川瀬隆弘	12→12	郵	S47	赤松秀樹	12→12	○
S28	坪田垂規良	12	郵	S40	畔柳信雄	12→12	○	S47	黒澤秀樹	12→15	み
S28	中原壮六	3	○	S40	小林邦彦	12→12	○	S47	俵新	12→15	み
S28	柴沼明	15	郵	S40	樋口周嘉	12→21	○	S47	山本哲郎	12→15	み
S29	川辺正行	20→15	○	S40	間宮誠一郎	12→12	○	S49	内田純司	15→15	○
S29	金井弘夫	4→10	郵	S41	河島洋征	12→12	○	S49	岡田滋行	12→12	○
S29	長山樹	12	郵	S41	香山晋	15	三	S49	佐々木順孝	12→12	○
S30	柴沼晋	12	郵	S41	武田勝年	12→15	○	S49	田名真一	12→12	○
S30	鈴木美暢	6	郵	S41	中岡智信	3→3	○	S49	西沢良徳	12→12	○
S30	深見浩一	3→3	○	S41	野村晋作	12→12	○	S49	笠原昌行	12→15	○
S30	藤本鉄也	24→12	○	S41	廣瀬英雄	12	郵	S49	三田四郎	12	郵
S31	浅見俊雄	12→21	○	S41	藤井俊治	12→15	○	S50	荒川吉彦	12	郵
S31	岡野俊一郎	10→10	○	S42	熊谷貞俊	12→12	み	S50	大西生泰	6	郵
S31	片山義朗	12→12	○	S42	坂井忠昭	12→12	○	S50	遠藤譲	12	○
S31	山本修	12→12	○	S42	鳥原光憲	12→15	○	S50	尾崎哲男	12→21	○
S31	牛木素吉郎	12→12	郵	S42	見米紘一	12→12	○	S50	柴田敏之	12	郵
S31	山野一郎	12	郵	S42	田代忠之	12→12	郵	S50	山中馨	12→12	○
S32	嶋田武夫	12→12	○	S42	小柳理	12	み	S50	山辺福二郎	12→12	○
S32	津田義久	12→12	○	S43	小川恭二	12→12	○	S50	吉沢伸明	12→21	○
S32	原靖二郎	12→12	○	S43	小西敏夫	12→12	○	S50	兵頭圭介	12→30	○
S32	倉田日出男	12	郵	S43	諏訪勝久	12→12	○	S50	松下兼幸	12→12	○
S33	西野宏	12→15	郵	S43	中井省	12→12	○	S50	大高松男	12→12	○
S33	浜口幸久	12→12	三	S43	中尾捷	12→12	三	S51	池森俊文	12→12	○
S33	井田信雄	12	郵	S43	小林将志	12→15	み	S51	小野田荘平	12→12	郵
S33	木村翁	12	郵	S44	石田祐幸	12→12	○	S51	影本浩	12→12	○
S34	畔柳敏雄	12→15	○	S44	大塚隆	12→12	郵	S51	杉浦裕	12→12	○
S34	高田宗昌	12→12	○	S44	加納研之助	12→12	○	S51	田中靖	12→12	○
S34	長崎充博	6→6	○	S44	北川薫	12→12	○	S51	谷本篤信	12→12	○
S34	佐藤芳夫	12→12	郵	S44	友定正治	9	郵	S51	堀井茂	12→18	○
S35	小山富士夫	12→12	○	S44	杉山健一	12→12	○	S51	宮武明	12→12	○
S35	福田泰二	12→12	○	S44	永峰富一	12→12	○	S51	南谷尚志	12→12	○
S35	伊野部元彦	12	郵	S44	鍋島厚	12→12	○	S52	池田吉彦	15→15	○
S35	長濱毅	20	み	S44	馬郡貴司	12	○	S52	三島茂	12→12	○
S35	山川博司	12	み	S44	松岡誠也	12→12	○	S52	藤原真一	12→15	三
S36	松村保	12→12	郵	S44	八林秀一	12→12	○	S52	森井太一	15	三
S36	足立格一郎	15	○	S44	藪内俊和	12→12	○	S53	阿部吉弘	12→12	○
S36	野澤量一郎	12→12	○	S44	大町達夫	12	み	S53	井田淳	12→12	○
S37	喜多康夫	12→12	○	S45	小菅恭彦	12→12	○	S53	本庄孝志	12→12	○
S37	斉藤次郎	12→12	○	S45	小柳望	12→12	○	S53	山崎隆志	12→12	○
S37	高嶋伸亨	12→12	み	S45	佐藤吉見	12→15	○	S53	青山研一郎	12→12	○
S37	三浦二郎	12→12	郵	S45	武田厚	15→21	○	S53	加川実	12→12	○
S37	名越英夫	12→12	郵	S45	田代康之	12→15	○	S54	上村司	12→15	三
S38	梅村洋	12→18	○	S45	吉崎英雄	12→12	○	S54	岸戸健	15	三
S38	中村紀雄	12→12	○	S45	榊井成夫	12→12	○	S54	宮恭久	12→12	○
S38	門馬建	9→9	○	S45	渡辺宏	12→12	○	S54	吉野元章	15→15	○
S38	高橋一修	15	み	S46	鹿島文行	12→12	○	S54	広瀬一郎	12→12	○
S39	安達二郎	12→15	○	S46	桜井英人	10→12	○	S54	吉江健一	12→12	三
S39	宇尾誠一	12→12	○	S46	清木俊行	12→15	○	S55	湊和則	12→12	三
S39	小川肇	12→12	○	S46	金丸仁	12	○	S55	山本洋一	12	三
S39	熊沢英男	12→15	○	S46	小原正	12→12	郵	S55	宮崎洋	12	三
S39	後藤雅治	15→15	○					S55	青山市三	12→12	○
S39	中島宏介	12→12	○					S55	飯島正	12→12	○
S39	八田洋	12→12	○					S55	井田陽彦	12→12	○
S39	森紘一	12→12	○					S55	大塚伸宏	12→12	○
S39	山田隆哉	12→15	三					S55	佐藤敦郎	12→12	○
S39	吉田慶次	12→15	郵					S55	柿木真澄	12	み
S39	山浦紘一	24→15	郵					S56	安藤豊	12→12	郵
S39	長田綏男	12	三					S56	牛窪健一	12→12	○
								S56	田中聡	12→12	○

(H20/3/31現在)

種別:入金方法の種類
 ○:口座振替
 み:みずほ銀行への振込み
 三:三菱東京UFJ銀行への振込み
 郵:郵便振替

卒業年	氏名	金額 (千円)	種別
S57	飯島敦	12→12	三
S57	志水利彰	12→12	○
S57	坂田中	12	○
S57	福澤伸哉	12→12	○
S58	植田浩	12→12	○
S58	和田康太郎	12→15	○
S58	中谷知弘	12→15	三
S58	橋本晴充	12→15	三
S58	高木智	12	三
S58	清水靖裕	12→12	郵
S58	熊倉政宣	12→10	み
S59	井上次典	12→12	三
S59	柴田周	12→12	○
S59	赤城庸人	15→15	○
S59	萩原豊	6→6	○
S60	伊藤洋	12→12	○
S60	小野平	12→12	○
S60	久井大樹	15	三
S60	河合耕作	12	三
S60	牛草哲朗	12	三
S61	森光金	12→15	三
S61	山本昇	15	三
S62	佐藤哲治	15→15	○
S62	鈴木修二	12→12	○
S63	外野雅彦	12	み
S63	鹿園直毅	12→12	○
S63	利重孝夫	12→15	三
S63	久保田健	12	○
S63	今井勝則	12	三
S63	金子健紀	12→15	み
S63	末永孝彦	12→15	み
S63	山本武志	12→12	み
H1	大久保将之	12→12	○
H2	金児敦弘	12	郵
H2	住谷安史	12→12	○
H2	中村文彦	12→18	郵
H2	金元輝	12→12	○
H2	黒木博史	12→12	郵
H2	橋本昌司	12	三
H2	熊岡尚	12	三
H2	小幡健太郎	12	み
H3	山口吉和	15→12	郵
H3	荒巻俊也	12→12	郵
H3	山田祈一	12→12	三
H3	浅野聖太	12	み
H3	中村聡	12	み
H4	天野賢一	12→12	○
H4	蜷川明男	12	○
H4	稲村孝史	12	み
H4	中村一郎	12	み
H5	磯新	12→15	三
H5	星川佳宏	12→15	み
H5	堀江弘一郎	12	三
H7	吉川健司	12	○
H8	鈴木智典	12→12	○
H8	古川弘之	15→15	○
H8	松田直樹	12→12	○
H8	阿部貴弘	12→12	み
H8	前川圭吾	12	三
H9	村岡哲郎	12	三
H10	端本昌夫	12→3	郵
H10	秋山淳	12→12	三
H10	矢野将文	12→12	三

卒業年	氏名	金額 (千円)	種別
H11	大谷聡	12→12	○
H11	樋渡類	3	○
H11	宮川尚久	12→15	○
H11	小林政雄	12	三
H11	永井伸	12→12	郵
H12	伊地知亮太	12→12	三
H12	下田修平	36	三
H13	伊藤陽介	12→12	○
H13	我部有	12→12	○
H13	長瀬拓生	12→12	○
H14	沖野泰之	3→3	○
H14	柿木充	12→18	○
H14	山中直岐	6→6	○
H15	小野高志	12→12	○
H15	胡内健一	12→12	○
H15	新山通世	12→12	○
H15	吉田寛	12→12	○
H15	米山雅也	12→12	○
H15	中島大智	12→15	○
H15	都島豪志	12→6	○
H16	河島清貴	12→12	○
H16	小松幸広	12→12	○
H16	清雄一	12→15	○
H16	高橋康一	12→12	○
H16	贄川俊	12→15	○
H16	茂木高志	12→12	三
H16	山地毅彦	12→15	三
H16	渡辺勇樹	12→12	○
H17	辻正太	18→15	三
H17	一言正之	3→12	○
H17	牧尚史	3→12	○
H18	朝倉尅	3→12	○
H18	岩田真吾	12→12	○
H18	上土居悠	15→15	○
H18	梶原康嗣	3→3	○
H18	北村篤司	3→3	○
H18	寺田宏幸	12→12	○
H18	福島周作	3→3	○
H18	宮副照久	3→3	○
H18	山崎浩平	3→3	○
H19	赤木升	3	三
H19	石黒雄一	12	○
H19	河村卓修	12	○
H19	諏訪俊	15	三
H19	西村直紀	3	○
H19	斎木琢郎	3	み
H19	池田亮一	3	三
H19	石川敏照	3	三
H19	金子泰拓	3	三
	御殿下SS	36	郵
合計	295	3,720	

(H20/3/31現在)

種別:入金方法の種類

○:口座振替

み:みずほ銀行への振込み

三:三菱東京UFJ銀行への振込み

郵:郵便振替

有限責任中間法人東大LB会 2008年度役員及び代議員

役 員				代 議 員					
	役職	卒年	氏名		卒年	氏名		卒年	氏名
1	理事長	S31	浅見 俊雄	1	S31	中島 裕	28	H01	大久保 将之
2	副理事長	S33	西野 宏	2	S37	名越 英夫	29	H02	金児 敦弘
3	副理事長	S35	小山 富士夫	3	S38	中村 紀雄	30	H03	山田 祈一
4	理事	S38	梅村 洋	4	S39	宇尾 誠一	31	H04	稲村 孝史
5	理事	S40	樋口 周嘉	5	S40	石田 金次郎	32	H05	小松 成
6	理事	S42	坂井 忠昭	6	S41	渡辺 翼	33	H06	檜川 和正
7	理事	S43	小川 恭二	7	S42	小柳 理	34	H07	森山 圭
8	理事	S44	藪内 俊和	8	S43	諏訪 勝久	35	H08	前川 圭吾
9	理事	S45	佐藤 吉見	9	S44	石田 祐幸	36	H09	吉田 貢士
10	理事	S47	手島 直幸	10	S45	武田 厚	37	H10	矢野 将文
11	理事	S50	吉澤 伸明	11	S46	櫻井 英人	38	H11	樋渡 類
12	理事	S50	兵頭 圭介	12	S47	宮路 康利	39	H12	福田 雅
13	理事	S51	南谷 尚志	13	S49	岡田 滋行	40	H13	広谷 昌俊
14	理事	S51	影本 浩	14	S50	尾崎 哲男	41	H14	搦木 崇史
15	理事	S63	利重 孝夫	15	S51	池森 俊文	42	H15	緒方 崇裕
16	理事	H10	矢野 将文	16	S52	藤原 真一	43	H16	清 雄一
17	理事	H12	伊地知 亮太	17	S53	井田 淳	44	H17	辻 正太
18	理事	H15	胡内 健一	18	S54	吉野 元章	45	H18	朝倉 赳
				19	S55	佐藤 敦郎	46	H19	赤木 升
1	監事	S34	畔柳 敏雄	20	S56	松元 明弘	47	H20	碓 知也
2	監事	S51	堀井 茂	21	S57	飯島 敦			
				22	S58	和田 康太郎			(注)
1	相談役	S19	須賀 敏孝	23	S59	赤城 庸人			① S31の中島代議員は名誉会員
2	相談役	S28	柴沼 明	24	S60	伊藤 洋			(70歳以上の会員:S36以前の
3	相談役	S29	岡野 俊一郎	25	S61	森 光金			卒業生)の代表
4	相談役	S32	原 靖二郎	26	S62	鈴木 修二			② S48は卒業生1名なのでS47に
				27	S63	鹿園 直毅			統合

創立90周年記念講演 講演者プロフィール

牛木素吉郎(うしき そきちろう)

スポーツ・ジャーナリスト (1955年度東京大学ア式蹴球部主務)

1932年生まれ。新潟県立新潟高校、東京大学文学部卒業。東京新聞運動部、読売新聞運動部、編集委員をへて、1993年から2006年3月まで兵庫大学経済情報学部教授(ジャーナリズム、スポーツ社会学)。アマプロ共存のクラブ組織が必要であることを説いて、読売新聞社在職中に東京ヴェルディ1969の前身である「読売サッカークラブ」の設立に尽力した。またワールドカップを1970年大会から9回連続取材し、大会の紹介に努めた。サッカー専門誌「サッカーマガジン」(現在は週刊)に1966年の創刊以来、長年に亘って時評を連載し続けた。ミズノ・スポーツライター賞、Jリーグ功労賞受賞。「ピバ!サッカー研究会」を主宰。

木村正明(きむら まさあき)

株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブ 代表取締役

1968年9月17日岡山県生まれ、岡山朝日高校、東大法学部卒業。

1994年、当時のア式蹴球部若手OBと、「チームDiego」を設立、東京都社会人リーグ4部に登録(現在、1部に所属)。

1993年ゴールドマン・サックス証券に入社。同社のマネージング・ディレクターを務め、2006年5月に退社。同年7月にファジアーノ岡山スポーツクラブ代表取締役に就任。同クラブのサッカーチームファジアーノ岡山FCのJリーグ昇格を目指して、地元メディアに取り上げられない日はないほど多忙の日々を過ごす一方で、ファッション雑誌GQに取り上げられるなど、多方面で大活躍。

ファジアーノ岡山FC(Fagiano Okayama FC)は岡山市、倉敷市、津山市を中心に岡山県全域を本拠地とするサッカーのクラブチーム。日本フットボールリーグ「JFL」に所属。クラブの掲げる合い言葉は「子どもたちに夢を!」。チームの活躍を通して子どもたちに夢を与え、晴れの国・岡山が子どもたちの笑顔でいっぱいになることを願っている。

前身は、1975年に結成された川崎製鉄水島製作所のサッカー部OBチーム、RFK(リバーフリーキッカーズ)。その後2003年、RFKを中核とし、岡山県サッカー協会役員をはじめとしたサッカー関係者が中心となり、「ファジアーノ岡山FC」が誕生。2004年社会人岡山県リーグ1部優勝。中国サッカーリーグへ昇格。2005年、2006年とも全国地域リーグ決勝大会へ出場するも、JFL昇格ならず。2007年、中国サッカーリーグ連覇(17戦全勝)。地域リーグ所属チームでは全国初となる、Jリーグへの準加盟を承認される。第31回全国地域リーグ決勝大会優勝。日本フットボールリーグ(JFL)への昇格を果たす。ホームスタジアムは、桃太郎スタジアム(約20,000人収容)。代表者、木村正明。監督、手塚聡。6月15日現在、3位(18チーム中)。Jリーグ昇格へ向けて、快進撃を続ける。

